



スポーツの秋：小学校の運動会

あわら 市議会だより

第14号

平成19年
10月15日 発行



先生、保護者もハッスル!

おもな項目

9月定例会報告	2
委員会報告	3
一般質問	8
議会日誌・ふるさと探訪	14

9月定例会

平成19年度一般会計予算額 114億9,276万6千円に

- ◆金津雲雀ヶ丘寮増築工事、5億7,204万円で契約
- ◆コミュニティバス
北ルート3号線、南ルート2号線をルート変更
- ◆金津中学校耐震診断の結果、校舎、体育館ともC判定

第24回の9月定例会は、9月5日から21日まで、17日間の会期で開催されました。

補正予算に関するもの3議案、条例の改正に関するもの3議案の計6議案、そして請願3件を上程し、各常任委員会に付託しました。

二日目に決算の認定に関するもの10議案を、決算審査特別委員会に付託しました。

また、引き続き、一般質問が行われ、11人の議員が行政上の問題をただしました。

最終日には各常任委員長報告の後、採決が行われ、各常任委員会に付託しました全議案及び追加議案1件を原案どおり可決しました。

請願については、1件を継続審査、2件を不採択とし、その他、議員提出議案2件を可決し、関係機関に送付しました。

市議会トピックス

永年勤続表彰

第24回定例会の冒頭、全国市議会議長会より、永年勤続表彰の伝達がありました。

在職10年以上表彰 橋本達也
(町議16年、市議3年)

在籍15年以上表彰 杉田 剛
(町議28年、市議3年)

今後も末永いご活躍をご期待いたします。

※町議時代の年数については1/2で計算しています。



表彰を受ける、杉田 剛議員

常任委員会報告

総務常任委員会

●議案第73号、平成19年度一般会計補正予算(第3号)

議会事務局所管では、行政改革調査特別委員会設置に伴う旅費等に51万7千円を計上。

総務課所管では、集会施設整備事業補助金99万円(浜坂・北湯東)、市長選挙費で229万円の減額、防犯対策費で防犯灯等設置事業補助金22万3千円が計上されました。

審査の過程で、県費を伴う補助制度の対象とならない集会施設整備事業補助制度の見直しの変更については、補助金等合理化委員会において検討することでありました。

防犯灯設置補助については、街灯と防犯灯の区別



友好訪中団派遣事業

●第4次友好訪中団派遣事業については、来年25周年となるが、成果、効果を考慮すれば、毎年続けられることは検討

●住民基本台帳カードの多目的利用を目的とした、ICカード標準システム構築業務選考結果についてであります。県内7自治体が既に導入されている機種であるが、今後費用が多くなることも予想され、互換性の対策、保証期間の延長、万全なセキュリティ対策などには、十分検討すべきであるとの意見がありました。



モーターボート競走

を因るため、特別観覧席の一般席をヘアシートに改装することに併い、所要の改正措置を行うものであります。

が不明確であるとの指摘に対しては、防犯灯の集落内の設置については、集落の任意とし、集落間の設置については、区長を通じて申請していただければ、検討することとでありました。

指定統計費においては、就業構造基本調査については、全体で285世帯、15歳以上を対象に、9

●議案外
●北湯地籍における風力発電計画に係る事業経過についてであります。19年度における北陸電力風力発電の抽選の結果は、11地点中7位であったとの報告があり、誘致は困難とのこととありました。

●防炎情報通信システムの方向性の早期決定、自主防災組織結成の促進、避難場所の指定見直しと周知徹底、備蓄物資の整備や旧芦原庁舎の利活用の早期決定などの意見・要望がありました。

●議案第76号、政治倫理の確立のためのあわら市長の資産等の公開に関する条例の一部を改正する条例の制定について

●議案第78号、あわら市モーターボート競走条例の一部を改正する条例の制定について

市情報公開条例及びあわら市下水道条例の一部を改正する条例の制定について

両案とも、郵政民営化法等の施行に伴う、用語の整理をする必要が生じたため、所要の改正を行うものであります。



あわら湯のまち駅舎

事業をすべ
消化できな
かったため
返還が生じ
たものであ
り、来年度
以降、適正
な予防介
護事業の実
施を要しま
した。



市宮武道館

武道館の使
用後には、
掃除の掃除
をし、管理
を申し入
れ、管理
についても
担当が点検
を実施して
いると

また、路線バスの
助金が打ち切りになる
来年の9月までは、
坂井市との関係も
あり、今後何らかの
方針を出したい
とのことであり
ました。



●議案第74号、平成19年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
●議案第75号、平成19年度老人保健特別会計補正予算(第3号)
平成18年度の精算に伴う返還金を計上するものです。

産業建設常任委員会

●議案第73号、平成19年度一般会計補正予算(第3号)

農林水産課所管では、農地集積実践事業補助金4,272万6千円を計上。

18の農用地利用改善組合に対して交付するもので、集積面積658.3haに対し81.2haが補助対象面積となっております。

競争力のある米産地育成事業補助金、232万円を計上。

認定農業者や集落営農組織に対し高品位な米づくりのため、コシヒカリの大粒化技術の導入を支援するものであります。

中番排水機場修理に28万8千円、坂井北部土地改良区(清王)が実施するパイプライン移送に対して助成する補助金100万円などを計上。

観光商工課所管では、北陸東海道の全線開通前

に行われるイベント開催に伴い、観光宣伝委託料100万円、湯の町駅前周辺街路灯修繕に40万円を計上。

また、北湯湖畔荘が売却されることから、花菖蒲園への進入路通行地役権設定に伴う測量業務委託料、38万4千円を計上。

建設課所管では、北陸新幹線建設促進福井北の玄関口大会に伴う負担金30万円、昭和公園の便器取替え、都市公園遊具修繕に140万円を計上。

太陽光発電等住宅設備促進事業補助金については、県補助金の廃止により、400万円が減額、打ち切りとなり、制度そのものが廃止されました。

この補助金について、当初予算を編成する段階で県へ問い合わせをしたのかとの問いには、知事選を控え、骨格予算であったため最終的には7月9日に補助金廃止の旨の

通知がきたとのことでした。

市営住宅においては、二面元村団地3棟、上野団地1棟の解体工事費210万円、二面元村団地跡地整地工事費280万円などを計上。

●議案外
品目横断的経営安定対策の取り組みについて、生産組織の法人化が進んでいるなか、今後の指導方法について質問があり、今後は自治体・J.A・農家が一体となって補完し、推進に向けて市の水道農業推進協議会が中心と

なっており、後日、違法ではないが適切では無いとの報告であり、今年度は契約上、シルバー人材センターに委託するが、来年度は学校と協議して行くとのことでありました。

教室には入れない生徒等に対しての支援相談活動に対する賞金75万3千円を計上。

これは用務員1名をシルバー人材センターへ委託するものであり、委員からはシルバー人材センターからの派遣について就業時間、雇用形態に問題がないようにとの意見

があり、後日、違法ではないが適切では無いとの報告であり、今年度は契約上、シルバー人材センターに委託するが、来年度は学校と協議して行くとのことでありました。

教室には入れない生徒等に対しての支援相談活動に対する賞金75万3千円を計上。

これは用務員1名をシルバー人材センターへ委託するものであり、委員からはシルバー人材センターからの派遣について就業時間、雇用形態に問題がないようにとの意見

があり、後日、違法ではないが適切では無いとの報告であり、今年度は契約上、シルバー人材センターに委託するが、来年度は学校と協議して行くとのことでありました。

教室には入れない生徒等に対しての支援相談活動に対する賞金75万3千円を計上。

これは用務員1名をシルバー人材センターへ委託するものであり、委員からはシルバー人材センターからの派遣について就業時間、雇用形態に問題がないようにとの意見

があり、後日、違法ではないが適切では無いとの報告であり、今年度は契約上、シルバー人材センターに委託するが、来年度は学校と協議して行くとのことでありました。

教室には入れない生徒等に対しての支援相談活動に対する賞金75万3千円を計上。

これは用務員1名をシルバー人材センターへ委託するものであり、委員からはシルバー人材センターからの派遣について就業時間、雇用形態に問題がないようにとの意見

があり、後日、違法ではないが適切では無いとの報告であり、今年度は契約上、シルバー人材センターに委託するが、来年度は学校と協議して行くとのことでありました。

教室には入れない生徒等に対しての支援相談活動に対する賞金75万3千円を計上。

これは用務員1名をシルバー人材センターへ委託するものであり、委員からはシルバー人材センターからの派遣について就業時間、雇用形態に問題がないようにとの意見

があり、後日、違法ではないが適切では無いとの報告であり、今年度は契約上、シルバー人材センターに委託するが、来年度は学校と協議して行くとのことでありました。

教室には入れない生徒等に対しての支援相談活動に対する賞金75万3千円を計上。

これは用務員1名をシルバー人材センターへ委託するものであり、委員からはシルバー人材センターからの派遣について就業時間、雇用形態に問題がないようにとの意見

があり、後日、違法ではないが適切では無いとの報告であり、今年度は契約上、シルバー人材センターに委託するが、来年度は学校と協議して行くとのことでありました。

教室には入れない生徒等に対しての支援相談活動に対する賞金75万3千円を計上。

これは用務員1名をシルバー人材センターへ委託するものであり、委員からはシルバー人材センターからの派遣について就業時間、雇用形態に問題がないようにとの意見

があり、後日、違法ではないが適切では無いとの報告であり、今年度は契約上、シルバー人材センターに委託するが、来年度は学校と協議して行くとのことでありました。

教室には入れない生徒等に対しての支援相談活動に対する賞金75万3千円を計上。

これは用務員1名をシルバー人材センターへ委託するものであり、委員からはシルバー人材センターからの派遣について就業時間、雇用形態に問題がないようにとの意見

があり、後日、違法ではないが適切では無いとの報告であり、今年度は契約上、シルバー人材センターに委託するが、来年度は学校と協議して行くとのことでありました。

教室には入れない生徒等に対しての支援相談活動に対する賞金75万3千円を計上。

これは用務員1名をシルバー人材センターへ委託するものであり、委員からはシルバー人材センターからの派遣について就業時間、雇用形態に問題がないようにとの意見



高速道路サービスエリアでの観光宣伝

なっており、後日、違法ではないが適切では無いとの報告であり、今年度は契約上、シルバー人材センターに委託するが、来年度は学校と協議して行くとのことでありました。

教室には入れない生徒等に対しての支援相談活動に対する賞金75万3千円を計上。

これは用務員1名をシルバー人材センターへ委託するものであり、委員からはシルバー人材センターからの派遣について就業時間、雇用形態に問題がないようにとの意見

があり、後日、違法ではないが適切では無いとの報告であり、今年度は契約上、シルバー人材センターに委託するが、来年度は学校と協議して行くとのことでありました。

教室には入れない生徒等に対しての支援相談活動に対する賞金75万3千円を計上。

これは用務員1名をシルバー人材センターへ委託するものであり、委員からはシルバー人材センターからの派遣について就業時間、雇用形態に問題がないようにとの意見

があり、後日、違法ではないが適切では無いとの報告であり、今年度は契約上、シルバー人材センターに委託するが、来年度は学校と協議して行くとのことでありました。

教室には入れない生徒等に対しての支援相談活動に対する賞金75万3千円を計上。

これは用務員1名をシルバー人材センターへ委託するものであり、委員からはシルバー人材センターからの派遣について就業時間、雇用形態に問題がないようにとの意見

があり、後日、違法ではないが適切では無いとの報告であり、今年度は契約上、シルバー人材センターに委託するが、来年度は学校と協議して行くとのことでありました。

教室には入れない生徒等に対しての支援相談活動に対する賞金75万3千円を計上。

これは用務員1名をシルバー人材センターへ委託するものであり、委員からはシルバー人材センターからの派遣について就業時間、雇用形態に問題がないようにとの意見

があり、後日、違法ではないが適切では無いとの報告であり、今年度は契約上、シルバー人材センターに委託するが、来年度は学校と協議して行くとのことでありました。

教室には入れない生徒等に対しての支援相談活動に対する賞金75万3千円を計上。

これは用務員1名をシルバー人材センターへ委託するものであり、委員からはシルバー人材センターからの派遣について就業時間、雇用形態に問題がないようにとの意見

があり、後日、違法ではないが適切では無いとの報告であり、今年度は契約上、シルバー人材センターに委託するが、来年度は学校と協議して行くとのことでありました。

教室には入れない生徒等に対しての支援相談活動に対する賞金75万3千円を計上。

これは用務員1名をシルバー人材センターへ委託するものであり、委員からはシルバー人材センターからの派遣について就業時間、雇用形態に問題がないようにとの意見

があり、後日、違法ではないが適切では無いとの報告であり、今年度は契約上、シルバー人材センターに委託するが、来年度は学校と協議して行くとのことでありました。

教室には入れない生徒等に対しての支援相談活動に対する賞金75万3千円を計上。

これは用務員1名をシルバー人材センターへ委託するものであり、委員からはシルバー人材センターからの派遣について就業時間、雇用形態に問題がないようにとの意見

があり、後日、違法ではないが適切では無いとの報告であり、今年度は契約上、シルバー人材センターに委託するが、来年度は学校と協議して行くとのことでありました。

教室には入れない生徒等に対しての支援相談活動に対する賞金75万3千円を計上。

これは用務員1名をシルバー人材センターへ委託するものであり、委員からはシルバー人材センターからの派遣について就業時間、雇用形態に問題がないようにとの意見

があり、後日、違法ではないが適切では無いとの報告であり、今年度は契約上、シルバー人材センターに委託するが、来年度は学校と協議して行くとのことでありました。

教室には入れない生徒等に対しての支援相談活動に対する賞金75万3千円を計上。

これは用務員1名をシルバー人材センターへ委託するものであり、委員からはシルバー人材センターからの派遣について就業時間、雇用形態に問題がないようにとの意見

があり、後日、違法ではないが適切では無いとの報告であり、今年度は契約上、シルバー人材センターに委託するが、来年度は学校と協議して行くとのことでありました。

教室には入れない生徒等に対しての支援相談活動に対する賞金75万3千円を計上。



屋台村のモデル店舗

は2千万円の赤字が見込まれる。赤字解消には15%から20%増の料金改定しか方策が無く、平成20年度から実施するべく改定幅などの検討を行っているとの報告がありました。

●上下水道課では下水道の滞納額の90%を財産区供給区域で占めており、上下水道料、下水道料の納付書の一本化をすすめ納納額の減少を図るよう取り組むべきと指摘があり、一定の条件を解決して進めれば納付書の本一本化は可能とのことから、20年4月実施に向け取り組ん

でいくとのことですが、しかしコンピュータソフトの変更にも多額の費用がかかることから、どれだけ投資効果があるか苦慮しているとのことでありました。

下水道整備の見込みについては、芦原地区は25年度、金津地区は28年度完了を目標に順次整備を進めていくとのことであり

なっており、後日、違法ではないが適切では無いとの報告であり、今年度は契約上、シルバー人材センターに委託するが、来年度は学校と協議して行くとのことでありました。

教室には入れない生徒等に対しての支援相談活動に対する賞金75万3千円を計上。

これは用務員1名をシルバー人材センターへ委託するものであり、委員からはシルバー人材センターからの派遣について就業時間、雇用形態に問題がないようにとの意見

があり、後日、違法ではないが適切では無いとの報告であり、今年度は契約上、シルバー人材センターに委託するが、来年度は学校と協議して行くとのことでありました。

教室には入れない生徒等に対しての支援相談活動に対する賞金75万3千円を計上。

これは用務員1名をシルバー人材センターへ委託するものであり、委員からはシルバー人材センターからの派遣について就業時間、雇用形態に問題がないようにとの意見

があり、後日、違法ではないが適切では無いとの報告であり、今年度は契約上、シルバー人材センターに委託するが、来年度は学校と協議して行くとのことでありました。

教室には入れない生徒等に対しての支援相談活動に対する賞金75万3千円を計上。

これは用務員1名をシルバー人材センターへ委託するものであり、委員からはシルバー人材センターからの派遣について就業時間、雇用形態に問題がないようにとの意見

があり、後日、違法ではないが適切では無いとの報告であり、今年度は契約上、シルバー人材センターに委託するが、来年度は学校と協議して行くとのことでありました。

教室には入れない生徒等に対しての支援相談活動に対する賞金75万3千円を計上。

これは用務員1名をシルバー人材センターへ委託するものであり、委員からはシルバー人材センターからの派遣について就業時間、雇用形態に問題がないようにとの意見

があり、後日、違法ではないが適切では無いとの報告であり、今年度は契約上、シルバー人材センターに委託するが、来年度は学校と協議して行くとのことでありました。

教室には入れない生徒等に対しての支援相談活動に対する賞金75万3千円を計上。

これは用務員1名をシルバー人材センターへ委託するものであり、委員からはシルバー人材センターからの派遣について就業時間、雇用形態に問題がないようにとの意見

があり、後日、違法ではないが適切では無いとの報告であり、今年度は契約上、シルバー人材センターに委託するが、来年度は学校と協議して行くとのことでありました。

教室には入れない生徒等に対しての支援相談活動に対する賞金75万3千円を計上。

これは用務員1名をシルバー人材センターへ委託するものであり、委員からはシルバー人材センターからの派遣について就業時間、雇用形態に問題がないようにとの意見

があり、後日、違法ではないが適切では無いとの報告であり、今年度は契約上、シルバー人材センターに委託するが、来年度は学校と協議して行くとのことでありました。

教室には入れない生徒等に対しての支援相談活動に対する賞金75万3千円を計上。

これは用務員1名をシルバー人材センターへ委託するものであり、委員からはシルバー人材センターからの派遣について就業時間、雇用形態に問題がないようにとの意見

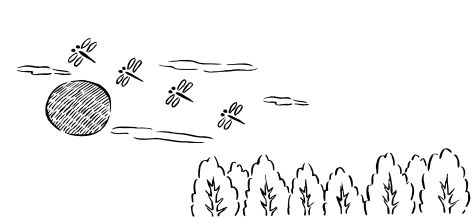
があり、後日、違法ではないが適切では無いとの報告であり、今年度は契約上、シルバー人材センターに委託するが、来年度は学校と協議して行くとのことでありました。

教室には入れない生徒等に対しての支援相談活動に対する賞金75万3千円を計上。

これは用務員1名をシルバー人材センターへ委託するものであり、委員からはシルバー人材センターからの派遣について就業時間、雇用形態に問題がないようにとの意見

があり、後日、違法ではないが適切では無いとの報告であり、今年度は契約上、シルバー人材センターに委託するが、来年度は学校と協議して行くとのことでありました。

教室には入れない生徒等に対しての支援相談活動に対する賞金75万3千円を計上。



あわらし市コミュニティバス

各委員会等報告

議会運営委員会

8月27日及び28日の両日、滋賀県栗東市及び奈良県大和郡山市へ視察研修を実施しました。

栗東市では、本会議での質疑・討論及び通告、一般質問のあり方、請願・陳情の取り扱い、議会の情報公開について研修を行ないました。

一般質問については、議案質疑も行うことができ、質問回数は制限なしとし、発言時間は、質問者30分以内、答弁者も概ね30分以内としております。個人質問は、結果的には一問一答の形式となっているとのことでありました。

大和郡山市では、政治倫理条例の制定について研修を行ないました。

この条例は、市政に対する市民の信頼に配慮、



公正で開かれた民主的な市政の発展に寄与することを目的に、議員提案として平成11年の3月議会定例会において可決され、4月1日より施行されております。

対象としては、市長及び議員とし、倫理基準としては、不正行為の禁止、地位利用の禁止、特定の業者の推薦・紹介の禁止市職員に関した推薦の禁止など、4項目の基準を

遵守しなければならないとしております。

今回の研修で訪問した両市共に、都市圏に隣接し、いずれも恵まれた環境ではありましたが、市政運営の最重要課題は行財政改革でありました。

今後、本市の議会運営については、会議規則を遵守し、今回の研修で参考になる事項につきましては、充分、協議検討して適正な議会運営に取り組んでまいります。

尚、政治倫理条例の制定については、市政に対する市民の信頼に配慮、公正で開かれた市政の発展に寄与する事を目的に、本条例の制定に向け、現議員の任期内での制定を目指し協議検討を致してまいります。

決算審査特別委員会

平成18年度の決算の認定に関する10議案を審査する為、決算審査特別委員会を設置いたしました。

12月議会までに7日間に亘り審議してまいります。

【委員会の構成】

- 委員長 笹原幸信
- 副委員長 卯目ひろみ
- 委員 八木秀雄
- 山口峰雄
- 北島 登
- 関山博夫
- 向山信博
- 坪田正武

9月定例会 請願・発議 審査結果

番号	要 旨	付託委員会	議決結果
請願第1号	品目横断的経営安定対策の見直しと、多様な農業担い手育成を求める請願	産業建設常任委員会	不採択 (賛成少数)
請願第2号	子どもの医療費無料化を求める請願	教育厚生常任委員会	不採択 (賛成少数)
請願第3号	年金課税を元に戻し、最低保障年金制度の実現を求める意見書採択に関する請願	総務常任委員会	継続審査
発議第9号	食料・農業・農村政策に関する意見書	産業建設常任委員会	可決 (全員賛成)
発議第10号	道路特定財源の確保と道路整備予算の充実にに関する意見書	産業建設常任委員会	可決 (全員賛成)

一部事務組合等報告

坂井地区 介護保険広域連合

7月18日に定例会が開催されました。

本会議に先立つ「全員協議会」では、「定例会の提出議案についての説明」及び「介護保険業務現状報告」がありました。「サービス未利用者」がわからないのか、サービスを利用しないのか、出来ないのかとの質問に対する答えは「サービスが利用できない人は少ない。要支援とかは、福祉用具を買い取ったため、将来のために申請し認定を受けている」というものでした。

続いて本会議に入り

- ・議案第11号、専決処分
- の承認を求めることについて
- ・議案第12号、平成18年度坂井地区介護保険連合介護保険特別会計繰

越明許費繰越計算書の報告について

- ・議案第13号、平成19年度坂井地区介護保険広域連合一般会計補正予算
- ・議案第14号、平成19年度坂井地区介護保険広域連合特別会計補正予算

の上記全議案は承認可決されました。

福井坂井地区 広域市町村圏事務組合

7月25日、定例会が開催され、上程された主な議案は次のとおりであり、何れも全会一致で可決しました。

- ・議長選挙
- 統一地方選挙により、欠員となっていた議長に福井市の谷口健次氏が選出されました。
- ・一般会計補正予算
- 歳入歳出何れも4,015万7千円を減額し、38億9,859万6千円とするものです。

これは、歳出において焼却施設管理費（清掃センター）に各種入札差金が生じたため減額するものです。歳入においては、前年度繰越金6,096万7千円を増額し、構成自治体の負担金を減額する財源更正を行うもので

す。

尚、あわらし市の負担金は、当初に比べ1,469万3千円が減額され、5億6,217万3千円となりました。

- ・監査委員の選任
- 欠員となった議会選出の監査委員に坂井市の岡本正義氏が選出されました。

利用低迷に関しては、調査、研究等により対策を講じ、利用率向上を図りたいとの答弁がありました。

また、9月3日、4日には組合議員全員が参加して、兵庫県篠山市斎場の視察研修を行いました。

嶺北消防組合

9月3日、定例会が開催されました。

今回のあわらし市議会の組織替えにより、消防議員の変更があったため、議席の指定及び議席の変更がなされました。

本会議では、専決処分に関するもの1件、嶺北消防組合管理の竹田川へ出入りするための陸扉が倒れ、事故が発生した為、損害賠償額を70万円と定める他、決算の認定にかかるもの1件、財産の取得にかかるもの、高規格救急車、多機能型消防ポンプ車の2件の合計4議案が上程され、すべて可決されました。



これは、歳出において焼却施設管理費（清掃センター）に各種入札差金が生じたため減額するものです。歳入においては、前年度繰越金6,096万7千円を増額し、構成自治体の負担金を減額する財源更正を行うもので



三國あわら斎苑組合

8月3日、定例会が開催されました。

一般質問における、組合事業の現状と課題に対する質問では、待合室の



市政について問う!

9月の定例会では、11名の議員による一般質問が行なわれました。ここでは、質問と答弁の要旨を掲載します。(順不動)

■ 中学校建設について
■ 後期高齢者医療制度について
■ 上水道財産区の上下水道料金の請求・徴収一本化について

山川知一郎 議員

問 教育委員会はいつまでに結論を出すのか。

答 4月の市長選挙を受けて、現在、中学校の2校存続とその整備方針について協議会を開催するなど、検討、協議を進めているところであり、早急に結論を出したいと考えている。

問 市の後期高齢者の状況はどうなっているのか。

答 問題の多い「後期高齢者医療制度」の見直しについて、広域連合及び国に対して要求すべきと考えているがどうか。

問 後期高齢者の現状ですが、8月1日現在の75歳以上の人口は、4,012人、75歳以上のみの世帯が894世帯、1,118人、その内一人暮らしが674人となっています。後期高齢者医療制度は、国民皆保険

を存続するために、「超高齢化社会を展望した新たな医療保険制度体系の実現」を目指し創設されたものであり、基本的には国民皆保険が維持されてこそ、その中で質の良い医療サービスを安心して受けることができると考えており、国、広域連合において、不都合等があれば市長会等で要望してまいります。

問 財産区区域内の上下水道料それぞれの滞納状況はどうなっているのか。
一本化に向けた事務作業の進捗状況と見直しはどうか。



芦原温泉上水道財産区

答 3月末の状況で、下水道料金については1億1,383万6千円であり、

滞納者件数は、712件、この内、財産区区域内の滞納額については、1億641万6千円、滞納者件数は293件となっています。
水道料金については、759万9千円、件数では159件となっています。
現在、利便性、経費の削減等を目的に、お互いの権限を侵さない方法での納付書の一元化方を検討中であり、平成20年4月からの実施を目的に、最後の詰めを行っています。

なお、財産区管理会をはじめ、関係区であります温泉三区長に対して、納付書の本化についての説明を行っています。

■ 鳥獣害対策について
■ 広報「あわらし」の市長コラムについて

向山信博 議員

問 鳥獣害対策の本格的対応が必要かと思うがどうか。

答 「中山間地の直接払い制度」や「農地・水・環境保全対策事業」を活用した、電気柵から恒久柵への転換指導と、県

問 各議員のご意見や教育委員会での協議結果を参考にしながら、市としての中学校整備方針を含めた財政計画を早期に作成し、10月中に示したいと考えています。

答 津中学校の施設は全て、耐震性は劣り、補強を要するものの、緊急度は高くないとの「C判定」でありました。

この結果を受けて、公約であります2校存続を前提に、教育委員会でも協議をしていただくとともに、議員各位の建設的なご意見を参考にしながら、10月中には今後の財政計画とともに、市としての方針を示してまいります。



芦原中学校グラウンド

■ 中学校2校の改築・改修及び財政計画について
■ 教育に取り組む、市長の姿勢について

八木秀雄 議員

問 市民は2校存続を選挙によって明確に選択しました。各部署も一致協力して芦原中学校改築、金津中学校校舎・体育館改修の速やかな実施計画を示すべきではないか。

答 金津中学校の耐震診断について校舎・体育館ともにCランクだったという中間報告が公表されました。それを元にした財政計画を速やかに市民に公表すべきではないか。

問 教育は人材育成・将来の市の発展のために行政が最優先に取り組む課題と思うがどうか。

答 百年の計に立った揺るぎない信念と明確なビジョンの下に、教育委員会と十分な連携をとりながら、積極的に教育行政に取り組んでいきます。

への新たな施策支援を要望していく。また、イノシシの捕獲を中心とした取り組みの強化を図るため、地元猟友会と連携して対応していきます。



捕獲されたイノシシ

問 広報を利用しての個人の宣伝、アピールにつながると思うがどうか。
一般市民も掲載を要望すれば掲載し得るのか。

答 コラム欄を設けたのは、本年7月号からであるが、このコラム欄は、市民と行政との関わりや市政の重要課題を、市民の皆さんにより分かりやすくお伝えすることが目的であります。

■ 中学校2校存続問題について
牧田孝男 議員

問 速報値とは言え、金津中学校の耐震調査判定が出た現在、今後どういうスケジュールで臨むつもりなのか。



金津中学校

答 診断の速報値は、体育館を含め、金

■中学校建設に係る財政上の諸問題点(1)(2)(3)
基金の取り崩し(1)(2)(3)
笹原幸信議員

問 2校存続するためにどのような財源確保の方法をとるのか。
・2校存続のためにどのような事業の縮小、先送りを考えているのか。
・市民負担増の具体的内容と実施時期についてはどうなっているのか。
・長期財政計画には第三者を入れて作成するよう申し入れたがどのように取り扱われているのか。



芦原中学校

答 財源確保については、歳入では、税

等の収納率の向上に努めるほか、公共料金についても、受益者負担の適正化に取り組み、起債については、有利な交付税措置のある合併特例債等の活用を図るほか、今後の重要な事業については、県に対して積極的な財政支援を要望するなど、可能な限りの手段を用いて財源の確保に努め、歳出については、行政改革大綱に基づき経費削減を行います。

事業の実施については、住民ニーズを把握しながら、先送りが可能で住民の皆様と与える影響が小さいものについては、事業の縮小・先送りも考えています。
市民負担増については、保育料、ごみ袋料金、上下水道料金の見直し等がありますが、議会で十分ご審議をいただき、料金の適正化を図っていきます。
長期財政計画については、後年度に財政負担が集中しないように、毎年見直しをかけるローリング方式により長期財政の均衡を図り、計画の原案作成は市において行い、その内容について詳細に議会に示し、承認を得たいと考えており、公認会計士等の第三者を加えることは考えていません。

問 市の財政は破綻寸前である。さらに借金を重ね2校を存続させ破綻に追い込むつもりか。

更なる市町村の再編と道州制の導入を推し進めている現在において、そのゆくえを見極めながら考えていく必要があります。第2の合併が、旧坂井郡単位になるのか、福井市を加えた中核市を目指すものなのか、更には県境をも越えた合併になるのか、現段階において明らかにすることは、差し控えています。

設計画の一括認可を求めて要請活動を展開しています。
また、市民への誘致アピールについては、あわらし市と坂井市で構成しております。「北陸新幹線芦原温泉駅建設促進同盟会」主催による、「北陸新幹線建設促進 福井北の玄関口大会」を10月13日にあわらし市の中央公民館において開催致します。

・中学校を建てるため地域振興基金、財政調整基金を取り崩す予定なのか。
・北潟湖畔公園用地取得費12億円の返済方法はどようするのか。

答 本年度における実質公債費比率は、16.8%であり前年を下回っておりますが、今後の財政計画の中でも、18%を上回らないよう十分配慮します。
基金については、平成16年度に積み立てた地域振興基金については、平成21年度から一部取り崩しが可能となります。また、財政調整基金はその年度の財源不足に対応するため、積み立てているものであります。このため、中学校建設時点の財政状況によっては、これら基金の活用も視野に入れていきたいと考えています。

用地取得の12億円については、地域振興基金の活用も視野に入れて財政計画の中で明らかにしたい。



答 市では、行政区や地区区長会、市民グループなどを対象に、「市長お出かけトーク」「市長と語る会」「市政懇談会」などを開催して、市民との対話の機会を設けており、これらの機会を活用していきます。
次なる合併の枠組みとしては、国が

問 市民との対話をいつ頃からどのような形で始めようと考えているのか。次なる合併の枠組みとしてはどう考えているのか。



あわらし市内の風景

■「第二の合併を視野に」の公約(1)(2)(3)
大下重一議員

■北陸新幹線誘致問題について
■地域住民生活のインフラ整備(1)(2)(3)
海老田州夫議員

問 北陸新幹線のメリット、デメリットを踏まえ、新幹線停車駅及び沿線市町の立場から市民に誘致アピールを積極的にやるべきと考えられているのか。

答 予想されるデメリットについては、開業まで時間があるため、関係機関と調整を図りながら、出来るだけ軽減していく。メリットについては、デメリットを遙かに上回る、時間短縮効果、高い経済波及効果などが発生していることから、現在、福井県を先頭に、沿線自治体が連携し、敦賀までの工事実



新幹線予定地

問 大型事業が山積するなか、費用対効果等を精査し住民に直結したインフラ整備に当てるべきではないか。

答 市では雲雀ヶ丘寮増築工事を始めとする、大型事業や大きな負担金を伴う事業が予定されており、その執行にあたっては、費用対効果の面からの精査

■新幹線の延伸による陰の部分(1)(2)(3)
■バイオエタノールによる、坂井北部丘陵地の活性化について(1)(2)(3)
山口峰雄議員

問 整備新幹線の費用負担、並行在来線が第三セクター化されることによる費用負担、また、沿線住民への影響についての試算等、どう考えているのか。

答 在来線の譲渡費用等に関しては、県と一体になって対応していくものと考えておりますが、各県との連携も重要であり、「JR東日本と交渉を進めている青森県の交渉経過を注視している段階であります。
大きな事業を行う場合、確かに光と影、又はメリットとデメリットそれぞれ考えられますが、この整備新幹線については経済波及効果や商業圏の拡大

問 坂井北部丘陵地の休耕地の利用としてバイオエタノールの製造の取り組みを国、県と連携して考えてはどうか。
・バイオエタノール製造に、稲わら利用も考えてはどうか。



坂井北部丘陵地

答 坂井市とあわらし市で設置しております「坂井北部丘陵地営農推進協議会」におきましても、今後の重要施策としてとらえており、国の「バイオマス・ニッポン総合戦略」に基づくところの、様々なバイオマス資源の調査・検討を

行い、丘陵地の畑作農業につなげて行きたいと考えています。
これらの構想実現に向けては、市のバイオスタウン構想と併せて行うことが効果的であると同時に、丘陵地のみならず市の多くの地域資源を活用した取り組みが肝要であり、丘陵地の遊休地対策を視野においたバイオ燃料の生産基地構想も含め、市として検討を考えています。

■コミュニティバス事業について
■ケーブルテレビの活用について

卯目ひろみ議員

問 今回の北ルート3号線、南ルート2号線の変更によって、どのようなことが変わると予測されるか。

答 ・コミュニティバス事業の今後のあり方、取り組みをどのように考えているか。また、費用対効果はどのようなものか。

問 今回の北ルート3号線と南ルート2号線の変更については、新郷地区と本荘地区を連結し、近隣医療機関へ行きやすく、また、芦原温泉駅や市役所ま



コミュニティバス

での乗車時間の短縮を図ったものであります。
今後も、少しでも市民ニーズに応えて行けるよう、努力しながら、赤字路線バスの動向も含め、総合的見地から判断して、廃止等も含め検討してまいります。

問 介護予防やメタボリックシンドローム予防の健康教室などの番組作りを取り組んではいかがでしょうか。

答 介護予防や健康教室などの番組については、視聴者の健康面あるいは安全確保の観点から、医師あるいは専門家の監修なくしては制作することができません。従いまして、現時点では、市

の保健師や栄養士がお知らせできる範囲、これが番組制作の限界であると認識しています。
今後は、一人でも多くの市民がテレビに登場し、市民生活に必要な情報を効果的にお届けするためにも、さらなる加入率の向上と、民間委託も視野に入れた番組の質の向上につきまして、十分な検討をしていきます。

■北陸新幹線について
■集会施設整備補助金について
穴田満雄議員

問 現在のJR北陸線の固定資産税はどれくらいになるのか。

答 ・現在のJR北陸線の固定資産税はどれくらいになるのか。
・整備新幹線に伴う将来の市の負担について、
イ 負担対象区間の距離はどれくらいか。
ロ 事業費に対する負担割合はどれくらいか。
ハ 固定資産税の試算をしているのか。
ニ メリット、デメリットの議論をするための素案はどのようなものか。

答 現在のJR北陸線の固定資産税は、土地に対する税額が約270万円、建

きましては、設計金額が約7億9千万円となることから、共同企業体方式による条件付一般競争入札とすることとし、工事の適正な施工を確保するため、最低制限価格を設けております。



金津雲雀ヶ丘寮

は、市民の皆様と情報を共有し、ご意見をお伺いしながら、進めたいと考えています。
市民会議室の再開については、県内の自治体においては、事前登録を前提とした会員制の電子掲示板を設ける動きがあります。市としては最低限、この条件を満たすことが、市民会議室を再開するための条件であると考えており、市の現行システムでは、この条件を満たすことができませんので、直ちに市民会議室を再開することは困難であると考えています。



市内の集会施設（浜坂区）

問 各行政区に設置されている集会施設の増設、補修等に要する補助率（補助金）の考えにどうするか。

答 集会施設の整備事業補助金については、農林水産課所管の「快適でふれあいのある集落整備事業補助金」、文化学習課所管の「ふれあい会館整備事業補助金」及び総務課所管の「集会施設整備事業補助金」の3本立ての体制であります。平成18年度から、県はこれらの補助制度の窓口を一本化し、補助率や補助要件を統一するとともに、一度補助を受けて建てられた集会所であっても、耐用年数が経過していれば補助対象とする制度に改めています。

市はこれを受け、総務課所管の補助制度に統一をしました。補助率は補助

問 増築工事の入札制度の市長の考え方についてどう考えているのか。

■金津雲雀ヶ丘寮40床増床の設計価格・入札制度について
■あわら市の行政運営を任せられる市長の説明責任について
北島 登議員

答 今年7月1日から大きく制度変更が行っており、一般競争入札の拡大を図るための基準を見直し、土木・建築工事ともに設計金額7千万円以上については、条件付一般競争入札とすることになった。また、2億円以上の工事につきましては、原則として共同企業体方式とすることとしました。

金津雲雀ヶ丘寮増築工事の入札につ

問 新市建設計画の変更案を議会に上程するまでに市民説明会を開き、直接市民に中学校2校のあり方を説明すべきと考えるがどうか。

答 ・新市建設計画の変更案を議会に上程するまでに市民説明会を開き、直接市民に中学校2校のあり方を説明すべきと考えるがどうか。
・市ホームページの市民会議室の再開についてどう考えているか。

2校存続に係る説明会は、先の市長選挙結果を踏まえ、開催は考えておりませんが、学校施設整備計画について



議会日誌

- 7月4日 広報編集特別委員会
- 5日 議会運営委員会
- 10日 教育厚生常任委員会協議会
- 17日 総務常任委員会協議会
- 18日 坂井地区介護保険広域連合議会定例会
- 20日 産業建設常任委員会協議会
- 23日 教育厚生常任委員会協議会
- 25日 福井県地区広域市町村圏事務組合議会定例会
- 31日 教育厚生常任委員会協議会
- 8月1日 産業建設常任委員会協議会
- 3日 全員協議会
- 10日 三国あわら斎苑組合議会定例会
- 10日 福井県市議会議長会臨時総会
- 24日 まちづくり調査特別委員会
- 27日 議会運営委員会視察研修(28日)
- 31日 議会運営委員会
- 9月5日 全員協議会
- 9月5日 第24回あわら市議会定例会 開会
- 11日 第24回あわら市議会定例会 一般質問
- 11日 広報編集特別委員会
- 12日 総務常任委員会
- 13日 産業建設常任委員会
- 14日 教育厚生常任委員会
- 20日 議会運営委員会
- 20日 総務常任委員会
- 21日 第24回あわら市議会定例会 閉会
- 28日 広報編集特別委員会
- 10月1日 教育厚生常任委員会視察研修(2日)
- 3日 決算審査特別委員会
- 4日 広報編集特別委員会

※おもな会議のみ掲載

ふるさと探訪

宮谷の石切場

宮谷に石場という個人所有の山がありそこに「宮谷石切場跡」があります。およそ30mの間隙：まぶ（鉱石を採るための横穴・坑道）を抜けると高さ8m程の巨大な吹抜けが出現します。

ところどころにある水たまりは非常に澄んでいます。宮谷地区のひとたちは昔、夏場にそこで泳いだのですが、あまりに冷たいので数分もすると唇が紫色になってしまったといいます。

昭和15年は完全な空梅雨で、雨の降らない日が40日間続きました。そこで石切場に目をつけこの水を揚げたそうです。

軟かい凝灰岩の石材を切出した所で、高さ2、30mもあるような鉱脈がいくつもあってさながらギリシャ神殿に入ってしまったような錯覚を覚えます。

宮谷石は黄褐色を帯び、霜に弱いので建築材としては土に埋めて使いましたが、石管・こたつなどにも使って、一時は大仕掛けに切出していました。この石場の山開きは明治二十年頃で、滝の石工・石川重兵衛が切り出したそうです。いよいよ盛んになったのは明治の終わり頃から大正へかけての時代でした。その頃は石工も15、6人は居ましたが排出場が不便な上に販路も狭いので、今は廃坑になっています。



(牧田) 場所:宮谷区(金津創作の森近く)

編集後記

「改革だ、改革を止めるな」と日本国中を席卷している改革モード。国のシステムを今変えなければ、日本の未来はないとの危機意識からの叫びだ。

ところが小泉改革から6年以上になるが、改革の後の国家像は一向に示されないまま、ただ見えているのは合理主義、市場原理主義の色合いが強い行政改革断行の様相である。

政治は合理主義、市場原理主義とは違う。政治に切り捨ては無い。

今、痛みの悲鳴があちこちで上がっているが、これはまさしく重大事である。死に至る激痛もあるのだ。

改革には痛みが伴うなどとかかったようなセリフで押し切られてはたまらない。

福田新政権が誕生した。国民との信頼関係の回復が何よりも重要と言う新首相に大いに期待したい。(大下)

市議会広報編集特別委員会

- 委員長 東川 牧
- 副委員長 八木 孝
- 委員 笹原 秀
- 委員 大下 幸
- 委員 宮崎 重
- 委員 篠崎 一
- 委員 大岩 修

発行 あわら市議会 編集 あわら市議会広報編集特別委員会

◆市民に親しまれる、紙面作りを目指しています。ご意見、ご感想をお待ちしております。

〒919-0692 福井県あわら市市姫三丁目1番1号 あわら市役所議会事務局
Tel. 0776-73-8045(直通) E-Mail. gikai@city.awara.fukui.jp

